

イングリッド・バーグマン

Ingrid Bergman

生年月日 1915/08/29

出身地 スウェーデン／ストックホルム

没年 1982/08/29

関連人物 イザベラ・ロッセリーニ（娘）
ロベルト・ロッセリーニ（元夫）

【バイオグラフィ】

■母親を2歳の時、父親を12歳の時に亡くし、叔父のもとで育てられる。幼い時から演技に興味を持ち、ストックホルムの王立演技学校にて演技を勉強。34年、「ムンクブローの伯爵」にて映画デビュー。39年に、彼女の主演作「間奏曲」のリメイク作品「別離」の主演によばれて渡米。以後、42年「カサブランカ」にて人気を確実にする。44年、「ガス燈」ではアカデミー主演女優賞を受賞。名実共にハリウッドを代表する女優になる。しかし50年、新しい演技への道を模索していた彼女は、当時、“ネオ・リアリズム”の筆頭格にあったロッセリーニ監督の元に、スキャンダル報道の中、家庭を捨てて渡り、ハリウッドから事実上の追放を受ける（彼宛に送った熱烈な内容の手紙は有名）。その後の風当たりの強さにもくじけず、確たる演技にて57年「追想」にて再びアカデミー主演女優賞を受賞。以後も活躍を続け74年「オリент急行殺人事件」にはアカデミー助演女優賞を受賞した。女優のイザベラ・ロッセリーニは娘。82年、67歳の誕生日にガンの為この世を去った。

【フィルモグラフィ】

イングリッド・バーグマン ～愛に生きた女優～ (2015)	出演
スティーブ・マーティンの 四つ数えろ (1982)	出演
秋のソナタ (1978)	出演
ザ・スター (1976)	出演
オリент急行殺人事件 (1974)	出演 : グレタ・オルソン
クローディアと貴婦人 (1973)	出演
春の雨の中を (1969)	出演
サボテンの花 (1969)	出演 : ステファニー・ディキンソン
妖艶美女大全集／銀幕の女神たち (1965)	出演
訪れ (1964)	出演 : カーラ
黄色いロールス・ロイス (1964)	出演
さよならをもう一度 (1961)	出演 : ポーラ・テシア
六番目の幸福 (1958)	出演
無分別 (1958)	出演
恋多き女 (1956)	出演 : エレナ・ソロコフスカ公爵夫人
追想 (1956)	出演
不安 (1954)	出演
火刑台上のジャンヌ・ダルク (1954)	出演
イタリア旅行 (1953)	出演
われら女性 (1953)	出演
ヨーロッパ一九五一年 (1952)	出演

ストロンボリ／神の土地 (1949)	出演 :カーリン
山羊座のもとに (1949)	出演
凱旋門 (1948)	出演 :ジョアン・マドゥ
ジャンヌ・ダーク (1948)	出演 :ジャンヌ・ダルク
汚名 (1946)	出演
白い恐怖 (1945)	出演
聖 (セント) メリーの鐘 (1945)	出演 :メアリー・ベネディクト
サラトガ本線 (1944)	出演 :クリオ・デュレイン
ガス燈 (1944)	出演 :ポーラ
誰が為に鐘は鳴る (1943)	出演 :マリア
カサブランカ (1942)	出演 :イルザ
天国の怒り (1941)	出演
ジキル博士とハイド氏 (1941)	出演 :アイヴィ・ピーターソン
四人の息子 (1941)	出演
六月の夜 (1940)	出演
一夜かぎり (1939)	出演
別離 (1939)	出演 :アニタ・ホフマン
ドル (1938)	出演
女の顔 (1938)	出演
間奏曲 (1936)	出演
スウェーデンイエラム家 (1935)	出演
ワルプルギスの夜 (1934)	出演
ムンクブローの伯爵 (1934)	出演